

Y やさしく K かしこく T たくましく

全校児童274名



# し お か ぜ

石巻市立万石浦小学校 令和3年6月30日

家族みんなで「はやね・はやおき・あさごはん」

## なぜ 塩の形なのか？

～6月の朝会の話から～

校長 太田 文子



6月13日は、万石浦小学校の誕生日でした。43才になりました。今日は、43才のお祝いに、万石浦小の「校章」についてお話しします。「校章」とは、学校のマークのこと。みなさんの名札などにもついています。このマークは、塩の形なのです。塩の粒はとても小さいので、「顕微鏡」という理科で使う道具で見ると、このような形であることが分かります。

では、なぜ塩のかたちなのでしょう？昔、万石浦はおいしい「塩」づくりが得意な地域でした。校歌にも「塩焼く名残り とどめたり」とあります。塩づくりに一生懸命取り組んできた昔の人々のがんばりと同じくらい、万石浦の子供たちもがんばってほしいという願いから、この形になりました。小さな一粒一粒が集まって、「塩」として人々の生活に役立っているように、一人一人が手を取り合って、助け合う学校をつかってほしい。塩の白さのように、清らかな「真心」をもって、成長してほしい。そんな願いが込められているのです。

「真心」って、どんな心でしょう？正直で一生懸命な心のことです。万石浦小の「校章」が、みなさんの「真心」の成長を見守っています。

## 「みんなでルールを守って 楽しく3Sで レッツゴー」～5年生・自然体験教室テーマ～



【出前講座の様子】

6月24日(木)25日(金)の2日間、学校を会場に、5年生・自然体験教室を実施しました。テーマにある「3S」とは、「真剣のS」「自然を感じるのS」「最高の思い出のS」。宮城県松島自然の家から講師を招き、防災学習を取り入れたプログラム「簡易テントづくり」「野外炊事」「空き缶ランタン」などの体験活動を行いました。子供たちは、友達と協力して活動することの大切さと、普段の生活のありがたさを感じることができたようです。また、自分の仕事に責任を持って取り組み、準備や後片付けを手際よく行う、高学年らしい姿も見られました。